

若戸校区は、南は壮大な太平洋に面し、北は半島を縦断する山並みが連なり市内最高峰の大山があるなど、豊かな自然に恵まれた地域です。校区では、「活気あるまちづくり」の一環として、市民館を拠点にさまざまな行事を開催しています。

◆防災教室「防災キャンプ」

若戸小学校と合同で、8月24・25日に5・6年生が二泊三日の防災キャンプを実施しました。

体験学習の目玉として、緊急時にプールの水などを浄化し、安全な飲料水に変える「緊急時浄水装置」を稼働させました。

当日は、水道水を使用して装置を稼働しましたが、参加した子どもたちの感想には、「プールの水と普通の水でできる機械



●防災キャンプの様子

があったのすごいと思った」とありました。もしものときの備えが、また一つできました。

◆子育て支援教室「親子リトミック」

就学前の幼児と保護者を対象に「親子リトミック」

を開催しました。親子

で音楽に合わせて、ボールやマラカス、スカーフなどを使って楽しく体を動かしました。

参加者からは、「近くて、気軽に参加できてよかった」との声もあり、市民館の地域での役割を感じました。

今年度から新たにインスタグラムを活用し、効果的に情報発信していきます。



●親子リトミックの様子



ユーザーネーム

若戸校区「コミュニティ協議会

wakato_shiminkan

「田原市の市民協働まちづくり方針」を改定しました

本市では、田原市総合計画において、「参加と協働のまちづくり」を最も重要なテーマの一つとして、住みよいまちづくりを進めています。

平成20年4月施行の「田原市市民協働まちづくり条例」に基づき、同年10月に「田原市の市民協働まちづくり方針」を策定し、平成29年度を目標に取り組んできました。

そして、方針の策定時からの社会情勢の変化と協働活動の進展を踏まえ、市民・市民活動団体・事業者・行政などで構成される「田原市市民協働まちづくり会議」を中心に、一部見直しを行い、3月に方針の改定を行いました。これで市民協働によるまちづくりがさらに進むことが期待されます。



▲まちづくり方針冊子

ます。

◆市民協働の基本理念

みんなが、それぞれの役割を認識し、お互いに理解し合い、信頼関係を築きながら、市民協働によるまちづくりを進めましょう。

◆基本的な姿勢

- ①人と人との絆づくり
- ②主体性を持った行動
- ③多様な能力の活用と担い手育成
- ④ふるさとに感謝

◆配慮すべき視点

- ①幅広い世代の参加
- ②男女共同参画
- ③多文化共生

※市HPから詳しい内容がご覧いただけます。

☎100-1050

▼企画課

☎23-507-230669

✉kyoudou@city.tahara.aichi.jp

田原市民活動支援センター

☎100-1061

✉shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp